

今週の商工新聞...JRもおすすめ

◆一面...消費税収6兆円も輸出大企業に還付!

◆三面...上越・新津民商 夜オリで飲食店賑わい!

◆五面...わが支部 支部活動が活発 岩手・胆江民商



聖籠町長と懇談・交渉!

「国保税は実態に沿つて減免の対応」と説明!

新発田民商は9月26日、「中小業者の施策拡充と地域経済の振興を求める要請」をするため、渡邊廣吉聖籠町長と懇談を行いました。民商からは、中村正博会長、聖籠支部の中村登支部長など6人が参加、中村恵美子町議会議員も同席しました。

要請は、①「小規模企業振興基本計画」について『家族経営・小企業者』の実態や要望に適合したものにしてください。実施にあたっては町民の意見を聞き、理解・協力が得られるようにしてください②国保税を引き下げ、減免申請を積極的に認めてください③強権的な徴収・取り立てはやさい④強権的な徴収・取り立てはやめ、申請型「換価の猶予」制度は使いやすい内容にしてくださいーの3項目について行いました。

渡邊町長は『基本計画』が『絵に描いた餅』にならないよう町民の理解・協力が重要。皆さん方が主催して町が説明会を開くなど「これは可能だ」と述べました。

国保の問題では「生活困窮者や著しい所得減少の場合など、個々の実態に即した対応をしていく。退職者への対応も解雇・自己退職の区別なく個々の事情を考慮している」と述べ、減免申請に柔軟な姿勢を示しました。また、「国保の県単位化にあたっては、保険税を一律に統一したりせず、各市町村の実態に合わせたものとなるよう県に要望している」と述べました。

恒例の「ぶどう狩り」大盛況!

9月25日、毎年秋の恒例行事となっている婦人部主催の「ぶどう狩り」が聖籠町で行われました。この日は、秋空の下で家族連れなど60人余りが参加。婦人部特製の「焼きそば」や「豚汁」を味わいながら、賑やかに楽しいひと時を過ごしました。

今年は天候が良かつたためぶどうの出来が良いことで、用意した30パックの「ぶどう」は、またたく間に完売しました。



婦人部主催

	10月10日	10月11日	10月12日	10月13日	10月14日	10月15日
月	10月16日: 県知事選挙 投票日					
10月17日: 婦人部三役会 夜7時 民商事務所						
10月18日: 青年部主催 簿記学校 夜7時						
10月20日: 弁護士による無料「法律相談」 要予約						

今後の日程